

β2 マイクログロブリン定量[尿]		23000			
U-B2MG		担当部署			
U-B2MG		生化			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*5.尿・便・その他→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8:15~16:00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	新鮮尿	2 3スピツ	なし	10	mL
2	蓄尿	22 蓄尿	防腐剤、尿量インジゲーター	10	mL
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		設定なし			
臨床判断値		設定なし			
基準値				単位	μg/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		糸球体濾過または尿細管再吸収機能の低下により、それぞれ血中・尿中で増加する低分子血漿蛋白。糸球体濾過値(GFR)が低下すると、尿中へ排泄されなくなるため血中のβ2M 値は上昇する。また近位尿細管再吸収機能が低下すると尿から血中への再吸収が滞る為尿中β2M 値が上昇する。このようにβ2M 測定の臨床的意義は、糸球体と尿細管機能の評価にあたる。 三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 443,2008			